5. 土木用途　圧縮強度　ノルウェー公共道路局の施行例

5

1：目的

1972年にノルウェー公共道路局がEPSを道路の超軽量盛土材として認可してから、現在まで使用されたEPSの体積は400,000m³に及ぶ。1972年の施行以来、材料の変化を調べるため既設の盛土から採取されたブロックの圧縮強度が測定された。

2：試料

EPS盛土の試験頻度

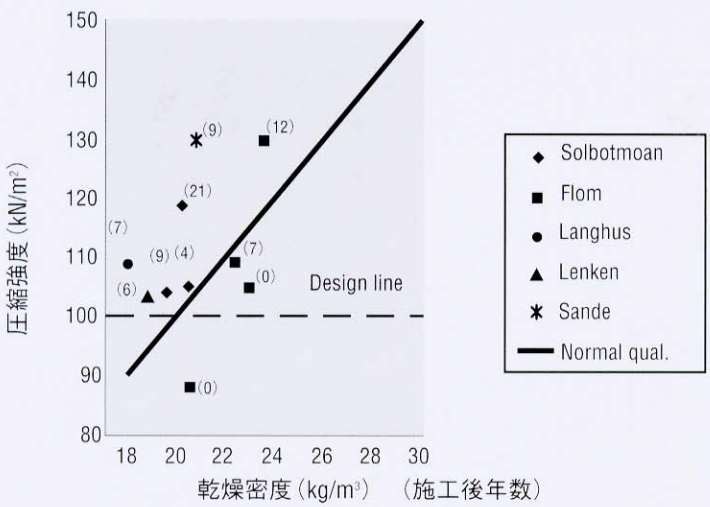
盛土の場所	施行された年	施行後サンプルが採取されるまでの年数			
国道159号 Flom bridge	1972/73	0	7	12	24
国道154号 Solbotmoan	1975	4	9	21	—
県道91号　Lenken	1978	6	—	—	—
県道26号　Lenghus	1977	7	—	—	—
国道610号 Sande-Osen	1982	8	—	—	—

3：結果

平均圧縮強度≧100kN／m²

大多数の試験は、乾燥密度－圧縮強度の値が標準品質の材料の圧縮強度より上であることを示している。24年間を通じて材料の品質低下はなく、地盤から吸い上げられた水も材料の強度に影響を与えない。

EPS盛土から取り出したサンプルの圧縮強度



4：出典

エリクフリューデンルント・ロアルド・アーベ　ノルウェー国立道路研究所

EPS Tokyo '96 1996. 10. 29

■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046　FAX.03-3861-0096